

五輪ボランティアへ助走の年



酉年から戌年へバトンタッチ。年が移り変わる度に誰もが新たな決意や夢を抱くでしょう。

Dreams come true! (夢は実現!) 仮に年老いてきても夢を抱いている、目標を思っていることが大事だと思います。心に描いていないことが実現することはあり得ないからです。

今年、私は 77 歳、喜寿になります。文学紀行の旅でドイツを訪れた際、ゲーテが大作「ファースト」の総仕上げの執筆を開始したのが 76 歳であったと知ると勇気が湧いてきます。そんな矢先、昨年暮れ、新聞が「2018 年 新年の抱負」を募集していたので投稿しました。残念ながら掲載予定の連絡はないのでこの欄でご紹介します。

五輪ボランティアへ助走

喜寿に当たる今年、2年後のオリンピック・パラリンピックの語学ボランティアに応募する予定です。昨年からは東京都観光ボランティアとして新宿駅周辺で来日した外国人のアテンドをしてきました。思いがけない国からの訪問者もあり楽しみや刺激もあります。

ふだんは現役時代の海外経験やその後の語学研鑽を活かし、地元市が高齢者の介護予防の一環として運営するシニア向け英会話教室の講師や近くの中学校で英語授業の支援などしています。どちらの教室でも「またとないこの機会に外国人との交流を楽しみましょう」と呼びかけています。

大事なのは言うまでもなく健康と体力。ちなみに現在している運動は週 1 回の水泳。それに 1 日 1 万歩も心がけていますが達成はなかなか難しい。天候にも左右される。そこで団地マンション 7 階の自宅まで計 88 階段を歩いて上っています。当初はやや息切れがしたり、1 階ロビーにエレベーターが待っていると「ラッキー!」と誘惑に駆られましたが、今は自然に足が階段に向くようになりました。

どんなに年を取っても夢を追いかけるのに遅いことはありません。夢は外に宣言することで自分の決意もより固まってきます。

この機会に”Boys, be ambitious!”から“Seniors, be ambitious! (熟年よ、大志を抱け!)”と訴える次第です。

.....

「500 字程度で」とあるので詳しくは書けません。少し付け加えますと：



昨年 11 月 戸田港から

文学紀行に一区切りをつけ、仏教伝来のルートをとる旅を始めた一昨年はインド、昨年は中国を訪ねてきました。今年は朝鮮半島の土を踏み、その意義を留めたいと思っています。

また 5 年前に予選で落ちた NHK のど自慢に再度挑戦して「ベサメムーチョ」(作詞作曲：メキシコ人) を特派員時代にお世話になったメキシコの皆さんに届けたい、

なんて。またいつも書いているように、創価学会創立 100 周年の 2030 年を目指して世界広布(仏法の精神を世界に広め平和を築いていく)へ最大限に貢献すること。そして、ちょうど 90 歳<2030 年>で PPK<ピンピンコロリ>が私の“見果てぬ夢”なのです。

